

前橋市元総社公民館
公民館運営推進委員会

平成30年度第2回委員会

日 時 平成31年3月14日(木) 午後2時
場 所 元総社公民館 第1会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 事

(1) 平成30年度事業実績について

資料	事業費等の状況	・・・	1 頁
資料	公民館の利用状況	・・・	2～3 頁
資料	公民館事業の概要	・・・	4～29 頁

(2) 平成31年度元総社公民館の運営と事業計画

資料	平成31年度元総社公民館事業計画	・・・	30～35 頁
----	------------------	-----	---------

(3) 平成30年度市民サービスセンター関係業務

資料	市民サービスセンター関係業務	・・・	36～39 頁
----	----------------	-----	---------

(4) その他

4 意見交換

5 閉 会

平成29・30年度 前橋市元総社公民館運営推進委員会 委員名簿

任期:平成31年6月30日 (敬称略)

No.	氏 名	所属団体・役職名	住 所	電 話	区 分	備 考
1	荒 瀬 優 子	元総社小学校 校長			学校教育 関係者	
2	中 村 正	元総社中学校 校長				
3	金 井 和 夫	元総社地区民生委員 児童委員協議会 会長			社会教育 関係者	
4	結 城 新 一	元総社地区子ども会 育成団体連絡協議会 会長				
5	小野里 昭 午	元総社地区 体育推進委員会 会長				
6	石 井 宏 樹	元総社公民館 利用自主グループ 連絡協議会 会長				
7	大 関 三枝子	元総社地区 ボランティア連絡会 会長				
8	爲 谷 修 子	元総社地区 保健推進員会 会長			学識経験者	
9	阿 部 明 雄	元総社地区 自治会連合会 会長				
10	林 悦 実	元総社地区 生涯学習奨励員 連絡協議会 会長				

平成30年度事業費等の状況（決算見込み）

1 備品整備・補修工事費

公用車12ヵ月点検	23,868円
合 計	23,868円

2 講座学級等の事業費（講師謝礼等）

地域づくり講座	18,000円
プレイルーム元総社	51,800円
少年教室	25,400円
ベテラン学習講座	16,000円
情報提供事業	0円
子育て・親子支援講座	82,000円
自主学習グループリーダー研修	0円
文化祭開催事業（※実施委員会助成）	110,000円
生涯学習奨励員研修	10,000円
公民館運営推進委員会等	24,000円
合 計	337,200円
※その他、消耗品等	237,871円

3 公民館運営費

消耗品費等	142,232円
補修費（施設修繕：下記参照）	203,040円※
社会参加費	57,000円
通信運搬費	7,700円
合 計	385,767円

※修繕、補修費については生涯学習課予算。 203,040円

※施設修繕：（第二和室空調ドレンポンプ交換修繕 70,200 円、網戸張替修繕 21,600 円、流し台水栓取替修繕 57,240 円、非常放送設備修繕 54,000 円）

公民館の利用状況

1 利用件数及び利用人数 (平成26～30年度、30年は2月実績まで)

年度	一般利用 (有料)		一般利用 (免除)		主催事業		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
26	411	6,036	1,425	25,027	133	8,235	1,969	39,298
27	516	7,965	1,627	26,644	187	8,190	2,330	42,799
28	544	7,836	1,574	28,579	145	9,242	2,263	45,657
29	626	8,429	1,780	31,495	158	8,670	2,564	48,594
30	629	8,022	1,724	29,127	151	8,212	2,504	45,361

2 平成30年度：月別利用回数及び利用人員 (2月まで)

月	利用件数及び利用者数							
	有 料		免 除		主催事業		計	
	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員
4月	55	596	145	2,677	0	0	200	3,273
5月	53	592	157	2,714	36	3,000	246	6,306
6月	62	750	171	2,994	1	34	234	3,778
7月	60	896	160	2,405	6	139	226	3,440
8月	55	683	137	2,093	2	101	194	2,877
9月	63	1,037	160	2,518	10	324	233	3,879
10月	61	726	195	3,310	4	106	260	4,142
11月	54	626	156	2,518	46	2,745	256	5,889
12月	51	675	141	2,611	4	243	196	3,529
1月	51	736	136	2,108	37	1,405	224	4,249
2月	64	705	166	3,179	5	115	235	3,999
3月	—	—	—	—	—	—	—	—
計	629	8,022	1,724	29,127	151	8,212	2,504	45,361

3 団体種別利用 (平成27～30年度)

(30年度は2月まで)

団 体	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	件数	利用人員	件数	利用人員	件数	利用人数	件数	利用人数
公共団体	384	6,586	181	4,925	402	6,798	459	9,057
青少年団体	83	1,178	94	1,921	107	2,224	76	999
女性団体	27	453	38	748	39	929	25	591
成人団体	1,627	26,038	1,740	27,411	1,842	29,733	1,776	26,220
高齢者団体	6	177	20	468	4	130	9	231
主催事業	187	8,190	145	9,242	158	8,670	151	8,212
企業その他	16	177	45	942	12	110	8	51
合 計	2,330	42,799	2,263	45,657	2,564	48,594	2,504	45,361

4 部屋別利用

部屋名	平成29年度			平成30年度2月まで		
	件数	利用人員	利用料金	件数	利用人員	利用料金
ホール	622	15,607	1,159,640	578	16,131	1,066,370
和室(1・2)	485	7,468	81,330	526	7,078	91,500
会議室(1・2・3)	747	12,071	295,270	746	10,928	278,870
視聴覚室	342	6,732	160,250	291	5,401	134,430
料理実習室	64	1,260	21,020	55	939	16,250
アトリエ	304	5,456	138,410	308	4,884	141,270
合 計	2,564	48,594	1,855,920	2,504	45,361	1,728,690
(有料団体計)	(614)	(8,319)	(385,360)	(629)	(8,022)	(350,130)

※ 29・30年度の有料団体計は、部屋利用全体の内数

5 陶芸窯実費徴収金額 (30年度は2月まで)

	29年度	30年度
件 数	24	19
金 額	43,440	34,560

1 生涯学習奨励員活動支援

自治会長・生涯学習奨励員合同視察研修

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員の資質向上を図る。
- ②自治会との連携を深め、地域の生涯学習の更なる活性化を目指す。

(2) 概要

生涯学習奨励員13名と自治会長13名を対象に実施。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/25 (水) 8:15~15:30	視察研修 「太田市の歴史と文化をたどる ～太田市南部・世良田方面～」	視察	太田市職員、地域 ボランティア、各 施設関係者ほか	22

(4) 評価と反省

視察研修は、事前の会議により太田市で研修を行うことに決定した。元総社地区に史跡が多くあることもあり、従来歴史に重きが置かれており、今回も、資料館ほか歴史関係施設を巡った。地元のボランティア会員との交流により、それぞれの地域理解を深めたり、自治会長と生涯学習奨励員の親交を深めたりする良い機会となった。



新田荘歴史資料館前で集合写真



解説を熱心に聞いています

生涯学習奨励員資質向上研修

(1) ねらい

- ①研修を通して生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。
- ②生涯学習奨励員の連携を深め交流を図る。
- ③講師選定において近隣地域の人材を活用することにより、交流と連携を図ることで、生涯学習の更なる活性化を目指す。

(2) 概要

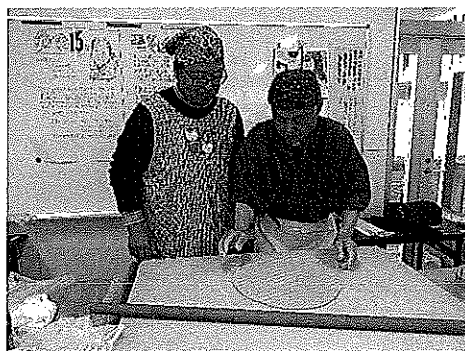
生涯学習奨励員 13 名を対象に実施。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	12/8 (土) 9:00~13:30	そば打ち講習	実習	清里そば打ち愛好会 代表 森村信政 ほか会員	12

(4) 評価と反省

そば打ち講習は、隣接する清里地区で活動しているそば打ち団体に協力を要請し、実現した。参加者からは、生地の混ぜ方や練り方など、本格的に学ぶことが出来てよかったという声があった。今後は、各町の行事等で経験を活かしたり、講師を紹介し地域人材の活用につなげたりしてもらえたら良いと思う。



棒で線をつけながら延ばします



会員の方とも交流が図れました

自治会長・生涯学習奨励員合同研修(出前講座)

(1) ねらい

- ①研修を通して生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。
- ②自治会との連携を深め、地域の生涯学習の更なる活性化を目指す。

(2) 概要

生涯学習奨励員 13 名と自治会長 13 名を対象に実施。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	1/23 (水) 18:30~19:30	「救急車が来るまでの対応について学ぶ講習会」(出前講座)	講義 実習	前橋市 西消防署 職員	21

(4) 評価と反省

限られた時間の中で講話と AED 実習を行うとして講師に工夫していただき、実生活に直結した役立つ研修となった。各自治会でも実施が多い内容だ

が、時間が経つと忘れてしまうもので、繰り返し学習し確実に身につけることが出来た。

2 情報提供事業

(1) 「かんぼう元総社」の発行

- ①公民館の主催事業、各種団体の事業のお知らせや事後報告、市民サービスセンター業務を掲載し、毎月15日に発行している。平成25年10月号以降、サイズをA3版裏表半折で作成している。
- ②毎戸配布部数は約8,800部、年間配布部数約105,600部。発行日に合わせ、インターネット閲覧できる電子版の館報も作成し、市役所ホームページ経由で閲覧を可能としている。
- ③紙面拡大後の、地域団体やサークルによる記事掲載依頼も多く受けている。これまでの形式を引き継ぎ、囲み枠を外すことで紙面に開放感を与え、記事スペースの拡大を図っている。掲載情報が多いが、見出しを大きくし、目立たせることで、記事内容が分かりやすいように配慮している。

(2) ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実

インターネット経由の情報発信は、行事等速報を迅速・広範に提供できるフェイスブックの活用を引き続き推進した。フェイスブックはスマートフォン経由の参照者も多く、対象となりうる個々人に広くアピールする効果がある。広報担当者以外の職員もその機能を活かし、担当事業について積極的に情報発信している。

3 子育て、親子支援

すこやか学級

(1) ねらい

- 1. 子育てに関する学習を通して、
 - ①明るく豊かな家庭を築こうとする意欲を高める。
 - ②育児に対する実践力を養う。
- 2. 同年齢の子どもをもつ親同士の交流や講師、託児協力者との交流を通し、
 - ①子育てに対する不安や孤独感を和らげる。
 - ②それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する。

(2) 概要

未就園児とその親を対象に、公民館報、チラシ、フェイスブックを通して参加者を募集。在籍者数17組。延べ参加組数74組。託児協力者は、元総

社地区の保健推進員とボランティア連絡会員。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	組数
1	7/4(水) 9:45～11:30	<開級式> ／アイスブレイク ～つくって、あそんで、 たのしもう！～	実技	明和学園短期大学 天宮 陽子	16
2	7/10(火) 10:00～11:30	親子でいっしょに リトミック	実技	リトミック講師 星野 さえ子	11
3	8/31(金) 10:00～12:00	簡単クッキング &食育のお話	講義 実技	明和学園短期大学 木村 祐美	14 託児有
4	9/6(木) 10:00～11:40	リフレッシュヨガ	実技	ヨガ講師 豊森 英子	9 託児有
5	9/11(火) 10:00～11:40	親子でふれあいあそび ～幼児期の今を大切に～	講義 実技	前橋市幼児教育ア ドバイザー 今井 寿美枝	12
6	9/19(水) 9:45～11:45	コラージュ作品づくり ～手形・足形を思い出に残 そう～／<閉級式>	実技	イラストレーター 飯塚 裕子	12 託児有

(4) 評価と反省

昨年度同様、夏から秋にかけて開催した。これまで実施している内容を引き継ぎつつ、他館で好評の講座をいくつか取り入れ実施した。

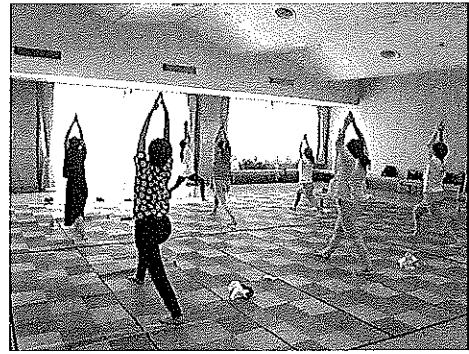
親子で体を動かして遊んだり、お母さんだけでゆったりとした時間を過ごしてもらったりと、それぞれ雰囲気の異なる回になるように設定したが、次年度以降は、参加者同士が話合うような講座を取り入れ、交流を深めたり、悩みや不安を共有したりしてもらえたらよいと思う。

託児は、今回学生ボランティアを募り、3名協力していただいた。子どもも学生ボランティアに親しんでいたようで、地区の託児協力者からもありがたいという声があった。可能であれば、また学生ボランティアの協力をお願いしたいと思う。託児全体としても、経験豊富な託児協力者で安心して預けられた、リフレッシュ出来てありがたかったという意見が多かったので、これからも託児協力者と協力して託児を行っていききたい。

託児の回数についてや講座の内容については、人それぞれの希望があるので講座構成のバランスが難しいが、参加者の意見を出来るだけ反映し、充実した講座となるよう考えていけたらと思う。



トリコットハープを持って自己紹介



ヨガで体をほぐしてリフレッシュ



トンネルをつくらせて遊びました



コラージュ作品のコンセプトを発表

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称BP)

(1) ねらい

- ①第一子の子を持つ母親を対象に講座を開催することで、同じ子育て環境にある親子の交流、情報交換の場とする。
- ②育児に対する不安を軽減しながら、乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

(2) 概要

第一子(2～5か月児)とその母親を対象として実施した。在籍者数大人12名、子ども12名(元総社・総社・清里公民館合同開催)。延べ参加者数47組。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	6/15 (金) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループワーク	前橋市子育て支援課職員 B P ファシリテーター 佐藤 亮子 町田 彩	12
2	6/22 (金) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			11

3	6/29 (金) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			12
4	7/6 (金) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			12

(4) 評価と反省

今年度から、ブロックごとの合同開催となり、各公民館担当者と協力して運営することが出来た。例年人気の講座であり、人数は定員集まって開催された。

参加者同士、仲を深められた様子で、講座終了後も元総社公民館で定期的に活動している。毎回出席率も良く、終了後の満足度も高いので、来年度以降も実施していきたいと思う。

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①子育てをする際に役立つ基本的な知識や技術の学習機会とする。
- ②公民館講座（子育て・親子支援）の託児協力者等、子育て中の親や子どもたちを支援する地域ボランティアを育成する。
- ③妊娠中などで子育てを目前に控える若年層の啓発に役立てる。

(2) 概要

群馬県地域密着型子どもの救急啓発事業により県からの委託として開催。公民館報、チラシ、ホームページ、フェイスブックを通して参加者を募集。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	2/1(金) 10:00~11:30	医師が伝える幼児救急対処法①(病気への対処)	講義	前橋赤十字病院小児科 松井 敦	19 (託児16組)
2	2/15(金) 10:00~11:30	医師が伝える幼児救急対処法②(怪我への対処)	講義	群馬大学医学部附属病院整形外科 品川 知司	19

(4) 評価と反省

公民館を利用している子育て支援団体の方からの要望により実施に至った。

第1回は、元総社地区保健推進委員会および元総社地区ボランティア連絡会に託児を依頼し、託児希望者の受け入れを行うこと、第2回は、託児は実施せず、託児担当団体の参加を促すこととして、地域の子育てに関わる多くの

人に受講してもらえようにした。

群馬県医務課の事業担当者に講師を紹介していただき、それぞれの専門分野から、第1回は病気への対処、第2回は怪我への対処を中心に解説をしていただいた。

終了後のアンケートでは、「医師の話聞いて安心できた」「深い話が聞けて良かった」という声があり、充実した内容となったようだった。託児についても「安心して預けられた」「集中して講座を聞くことができた」という意見が多く好評であった。また、第2回については、「託児があれば参加したかった」という方が非常に多かったので、対象を限定するなど、今後の実施方法を検討していきたいと思う。



病気への対処について (2/1)



怪我への対処について (2/15)

東・元総社ふれあい学級

(1) ねらい

- ①保護者の教育力を高めるため、家庭における子育ての方法や子どもの成長に合わせた親の関わり方の学習を実施する。
- ②保護者自身の生活を充実させていくための学習を実施する。
- ③参加者同士の交流を図り、今後の子育ての参考になる話し合いの場を提供する。
- ④本事業は東公民館と元総社公民館、昌賢学園群馬医療福祉大学が連携して実施し、きめ細かな家庭教育の支援とその効果を一層高めることを目指す。

(2) 概要

東公民館、元総社公民館、昌賢学園群馬医療福祉大学の連携事業として開催。対象は、未就園児を持つ保護者とその子ども。定員は50組。公民館報、チラシ、ホームページ、フェイスブックを通して参加者を募集。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	3/11(月) 10:00~11:30	親子でリズム遊びと絵本読み聞かせ	実技	群馬医療福祉大学 田中 輝幸 赤堀 達也	100

(4) 評価と反省

東公民館、元総社公民館、群馬医療福祉大学との連携事業として、昨年度に続き開催した。講座に慣れている先生で、公民館事業にも大変協力的である。各公民館担当者と講師で、協力して運営することが出来た。

内容は、歌や読み聞かせに合わせて親子でふれあい遊びをするのがメインで、子どもたちも歌ったり踊ったりして、楽しんでいる様子だった。参加者からの満足度も高く、また開催してほしいという声が多くあった。定員を多く設定出来るのは合同講座ならではの、ぜひまた開催したいと思う。



みんなで集まり二重の円を作ります



リズムに合わせて高い高い!

4 青少年体験・チャレンジ活動

夏休み元総社少年教室

(1) ねらい

- ①創作体験や集団での活動を通して、自主的に考え工夫してものづくりをする力を育む。
- ②学年や学校、世代を越えた交流を通して子どもたちのコミュニケーション能力を向上させる。
- ③スポーツを楽しみながら、子どもたちの健康維持及び体力向上を図る。

(2) 概要

元総社地区在住の小学生を対象とし、小学校の夏休み期間に講座を開催した。

延べ参加者数：63名

(3) 内容

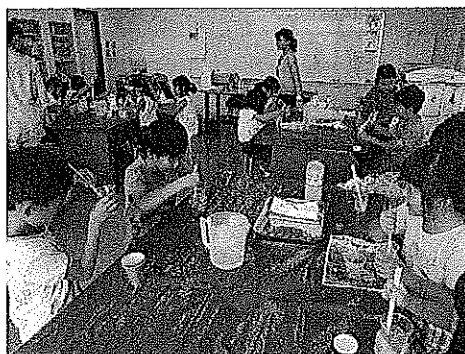
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	7/25 (水) 10:00~12:00	夏休みおもしろサイエンス	実習	NPO 教育支援協会 北関東	20
2	7/27 (金) 9:30~11:30	きりえ教室	実習	元総社 きりえ愛好会	11
3	7/31 (火) 10:00~12:00	スポーツチャンバラ教室	実習	群馬スポーツ チャンバラ協会	14
4	8/21 (火) 8:50~12:20	児童文化センターへ行こう!	館外 学習	児童文化センター 職員	18

(4) 評価と反省

科学・工作・スポーツと様々な分野の学習ができるようプログラムを組み立てることができた。今年度は全体的に、定員まで届かなかった講座が多かったのが残念であったが、そのぶん子どもたち一人一人に目が行き届き、きめ細かな指導をしていただけたのではないかな。

きりえ教室では、自主グループに講師をお願いし、地域の人材を活用するとともに世代間交流ができた。チャンバラ教室では、武道の作法や礼儀なども学び、小学生ではなかなか体験することのない学習ができたと感じる。児童文化センターではプラネタリウム鑑賞後、館長さんに特別講座を開催していただき、理科の実験や葉っぱを使ったしおりづくりなどを体験した。顕微鏡を触ったことのない低学年の児童は、興味津々でのぞいていたのが印象的であった。

定員割れしてしまった反省を踏まえ、来年度は学校行事や地域行事と重複していないか等、事前に日程調整を充分に行い企画していきたいと思う。



スライムを作っています(おもしろサイエンス)



きりえのうちわが出来上がりました(きりえ教室)



二人組になって対戦！（チャンバラ教室）



顕微鏡で葉脈を観察（児童文化センターへ行こう！）

プレイルーム元総社

（１）ねらい

文化的な活動や工作を通して、

①子どもの豊かな心を育む。

②学校や学年の枠を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進める。

③親子の交流の場を提供し、絆を深める。

（２）概要

元総社公民館と元総社地区ボランティア連絡会の共同で運営。小学１～４年生の児童及び年長の幼児（幼児は保護者同伴）を対象とし、小学校や保育所へのチラシ配布と公民館報、フェイスブックを通して、各回参加者を募集。なお、クリスマス会のみ、小学校６年生までの児童および乳幼児として、対象制限を拡張して実施している。

延べ参加者数：３３５名

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	6/9(土) 10:00～11:40	スポーツチャンバラ体験	実技	群馬県スポーツ チャンバラ協会 大崎 美弥子 元総社地区ボラン ティア連絡会	34
2	7/28(土) 10:00～11:30	デコパージュでかざろう ／ビンゴ大会	実技	会員講師 大関三枝 子／沖津 早苗 元総社地区ボラン ティア連絡会	33
3	9/8(土) 10:00～11:40	こども電気教室 クリップモーターを つくろう！	実技	小栗 孝弘（関東 電気保安協会） 元総社地区ボラン ティア連絡会	24

4	11/17(土) 10:00～11:45	調理実習 しょうが焼きとマシュマロ トーストをつくろう	実習	会員講師・大関三枝 子 元総社地区ボラン ティア連絡会	31
5	12/26(火) 13:35～15:05	クリスマス会（人形劇）	観賞	おはなしの会 「もこもこ」 元総社地区ボラン ティア連絡会	170
6	3/2(土) 10:00～12:00	お抹茶体験	実技	小栗 孝弘 元総社地区ボラン ティア連絡会	43

（４）評価と反省

元総社地区ボランティア連絡会の協力により、児童対象の地区催事として長年定着している。参加児童は講座を通して、学年や学校区を超えた交流、地域の人との交流が出来ているようである。クリスマス会では、保育所や福祉作業所、デイサービスセンターからも参加者を招き、一般募集も対象制限を拡張して大々的に行なっている。人形劇開催のほか、クリスマスソングの合唱や、サンタクロースの登場等があり、毎年になぎやかに開催している。今年度は、昨年度より１回多く講座を設定し、最終回にお抹茶体験を実施した。お抹茶体験は、沢山の人が集まり、自由な雰囲気の中行われ、子どもからも好評であった。

保護者の参加もあり、地域間交流の場となっているので、地域にとって必要な講座だと思うが、ボランティア連絡会会員の高齢化により、会員が減少し負担が大きくなっているため、会員の負担を考慮することも今後の課題の一つである。



ボランティア会員さんが丁寧に
教えてくれます（デコパージュ）



最後はみんなで楽しく試食（しょうが焼
きとマシュマロトーストをつくろう）



もこもこさんの人形劇に子ども
たちは夢中です（クリスマス会）



自由な雰囲気でお抹茶を味わい
ました（お抹茶体験）

子ども会育成 指導者・リーダー研修

（１）ねらい

- ①地区内の育成会を対象に初級指導者講習会を実施し、各育成会の資質向上を図る。
- ②地区内の小学５・６年生を対象にリーダー研修会を開催し、学校区や学年を越えた児童の交流を図る。また、自分達で考え協力しあうことを通して、リーダーとしての資質向上を図る。

（２）概要

参加者：指導者講習５５名、リーダー研修１１９名（引率含む）

（３）内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
4/29（日） 5/13（日）	初級指導者講習会 子ども会育成会の養成	講義 実技	地区子育連 上級指導員 前橋市消防局 西消防署	55
7/21（土） ～7/22（日）	第63回リーダー研修会 魚釣り・野外調理・ 榛名神社参拝他	実技	地区子育連役員	56
11/17（土） ～11/18（日）	第64回リーダー研修会 中之嶽神社参拝・ ハイキング・クラフト製作・ 自然史博物館見学他	実技	地区子育連役員	63

（４）評価と反省

今年も地区内の育成会役員を対象に市民サービスセンターホール及び前橋市消防局西消防署にて初級指導者講習会を行った。講師である上級指導員の城田氏作成の資料に基づき、望ましい育成指導者としてのあり方について、元総社地区の歴史を踏まえた講義をしていただいた。地元出身者だけでなく、異動や結婚等でこの地域に住み始めた参加者も含まれ、「育成会役員

の意義を学ぶと共に、地域について改めて詳しく知る機会となった」との意見をいただいた。

また、子育連本部役員が中心となり、地区内の小学生5・6年生を対象にリーダー研修を開催した。

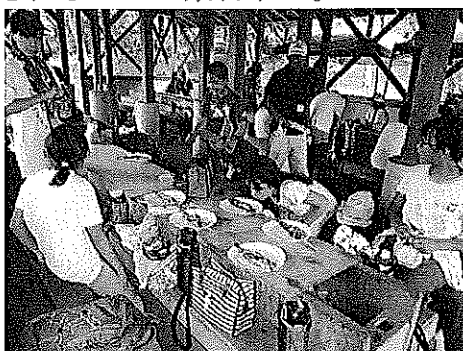
夏には、わらび平森林公園キャンプ場を会場に1泊2日の宿泊研修を実施。本部役員やシニアリーダー指導のもと、参加児童は自分達で協力しあいながら、野外炊飯等を行った。平成30年夏は異常な猛暑で、参加者の熱中症を警戒しながら活動、2日目は子どもたちの疲労度を考慮して榛名富士への登山を急遽中止する判断も行うなど、厳しい条件ではあったが無事に終了した。

秋には、妙義青少年自然の家での宿泊研修を行った。初日は比較的温暖な天候に恵まれ、登山やクラフト体験、バーベキュー等を無事に実施できた。2日目は早朝から冷え込むも、早朝からのラジオ体操、こんにやくパークでのゼリー作り体験を実施、県立自然史博物館も見学した。いずれのリーダー研修ともに、子どもたちにとっての忘れがたい思い出になったものと考えている。

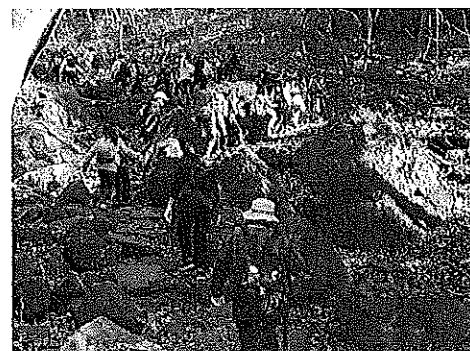
また、昨年度参加してくださったシニアリーダーの方4名に、今回も夏・秋ともに参加していただくことができた。また明和学園短期大学の多大なご協力の下、夏・秋ともに更に3名ずつ、現役学生のシニアリーダーに参加していただくことができた。本部役員やシニアリーダー間の連携もほぼ円滑に進行し、重大な事故・ケガ等もなく無事実施することができた。

実施中の課題について個別に対策を検討し、より良く安全に、かつ関係者に過度の負担を求めすぎない運営を工夫してきた。今後も継続した課題である。

元総社地区リーダー研修の趣旨として、リーダーとしての資質向上のほか、学校区・学年や性別を越えた交流を介しての仲間づくりが想定されている。学校区の違う児童同士が、夏のリーダー研修で顔を合わせた後、秋のリーダー研修でも再会し、親しく交流する様子を見ることができた。元総社地区3小学校は同じ元総社中学校区である。来年度、再来年度の中学校進学後も、これらの体験が子どもたちの友情の糧となり、中学校生活において生かされることを期待する。



夏のリーダー研修 釣ったマスを塩焼きに



秋のリーダー研修 妙義の急斜面に挑む

5 学び合い、人権、地域ふれあい

元総社ベテラン学習講座

(1) ねらい

急速に進行する高齢化を踏まえ、以下3点を目的に開催した。

- ①地域の高齢者の集いの場・仲間作りの場の提供
- ②健康に関心を持ち、喜び・生きがいを見出す機会の提供
- ③地域で活躍する人材の活用

(2) 概要

元総社地区在住の60歳以上の男女を対象に実施。(第1回・第4回は、それ以外の一般参加者も受け入れる公開講座とした)

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	8/29 (水) 9:30～11:30	開級式(館長・担当) / 「フレイルを防ごう～骨粗鬆 症の予防法」 グループワーク (公開講座)	講義 ・実習	老年病研究所理事 長・同付属病院長 高玉 真光 / 地域包括支援センタ ー西部 職員5名	65
2	9/12 (水) 9:30～11:30	「群馬デリバリー楽団演奏 会」～懐かしの昭和歌謡を 聴こう～	講義 ・実習	群馬県消費生活課企 画指導係 山崎 隆之	34
3	9/26 (水) 9:30～11:30	「楽しく安全安心な暮らしの ために」～詐欺・交通事故にあ わないヒント～	講義	前橋警察署大友交番 所長 新井 郁江	19
4	10/10 (水) 9:30～11:30	歴史講座 「古代群馬の中心 上野国府 跡」 (公開講座)	講義	前橋市文化財保護課 主任 阿久澤 智和	49
5	10/23 (火) 9:30～11:30	「ひざ腰らくらく・元気な生 活」～転倒予防に向けた身体 づくり～	講義 ・実技	前橋市長寿包括ケア 課介護予防係 北原 絹代	21
6	10/31 (水) 9:30～11:30	「伝えたい味・食文化」～ぐん まの伝統食を楽しむ会～	実技	元総社地区食生活改 善推進協議会	13

7	11/13 (火) 9:30～11:30	「シクラメンを長く楽しむ方法」／閉級式	講義	群馬県農業技術センター花き係 千吉良 昭宏	15
---	-------------------------	---------------------	----	--------------------------	----

(4) 評価と反省

年度当初から、公民館を利用する団体や高齢者に、地域の特性や課題について情報収集を行い、課題解決に向けたプログラムを企画した。健康寿命を延ばす講座からはじまり、音楽鑑賞、防犯、歴史、体力づくり、料理、園芸と多種にわたり学習を行った。アンケートでは、「楽しかった」、「今後の生活に役立つ内容の講座だった」等おおむね良好な評価をいただいた。また、回数を増すごとに、隣人同士のコミュニケーションが深まったように感じた。今後も、機会があるごとに地域の高齢者や団体から情報収集を行い、生活に潤いや、生活に役立つ講座を企画したい。



フレイルを防ごう～骨粗鬆症の予防法
グループワーク



群馬デリバリー楽団演奏会



楽しく安全安心な暮らしのために
～詐欺・交通事故にあわないヒント～



伝えたい味・食文化
～ぐんまの伝統食を楽しむ会～

地域づくり講座Ⅰ 歴史講演会『古代群馬の中心 上野国府跡』

(1) ねらい

- ①最新の文化財発掘状況を反映させた講義を実施することで、地域の特色である歴史的資源について理解を深め、地域住民の郷土愛を醸

成する。

- ② 10月下旬に高崎市国府地区で開催される「上野国分寺まつり」に先立ち、上野国府と上野国分寺の関連性、歴史的意義について、元総社地区住民の事前理解を深める学習機会とする。

(2) 概要

元総社地区住民を対象に実施。公民館主催事業「元総社ベテラン学習講座」との共同開催。出席者49名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/10 (木) 9:30~11:30	歴史講演会 「古代群馬の中心 上野国府跡」	講演	前橋市教育委員会 文化財保護課 主任 阿久沢智和	49

(4) 評価と反省

元総社地区住民は「国府のあった地」と伝えられることから、かねてから古代～近世に至る地元の歴史への関心が深く、また公民館に接した地域での区画整理事業にも伴い、文化財発掘が身近な環境にある。

このため、地元の歴史愛好家団体などは、文化財保護課の担当者として第一線での調査に携わる阿久沢主任を定期的に招き、発掘調査の現状を聞くことに強く関心を持っている。

今回、文化財保護課の協力を求め、国府との関連が深い「上野国分寺」での催事実施とも絡めて、一般住民に広く参加していただく学習機会を設けた。

当日は、講師の阿久沢主任による画像と紙資料の併用で、国府の位置づけ、昭和初期以降に元総社地区が国府疑定地とされ研究が進行していった過程、文化財保護課による直近の発掘調査の成果などが、時間をかけて説明された。

歴史マニア的な参加者がいた一方で、移住によって元総社と縁を持った方もおり、それぞれの層に強い関心を惹く内容であった。講師も語るのとおり、大規模発掘調査が困難であるため、速やかな遺構の発見等は容易でないのが実情であるが、墨書の残された土器の出土と顕彰など、多くの傍証を通じて実態を調査している現状が説明され、参加者の関心を集めた。

地域の区画整理事業進行と並行して古代～中世の様々な遺構が見つかっており、今後も定期的にこの種の学習機会を設けることで、文化財保護活動と地域の歴史に対する理解を深める一助としたい。

地域づくり講座Ⅱ ぐんまの伝統食を楽しむ会

(1) ねらい

- ① ぐんまの伝統食を作って食する機会を通し、その継承と地域住民

の交流を図る。

②地域の人材を活用し、継続的なボランティア活動につなげ、地域づくりを推進する。

③老若男女幅広く参加者を募集し、世代間交流を図る。

(2) 概要

元総社地区住民を対象に実施。

在籍者数：14名 延べ出席者数56名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/17 (水) 9:30~11:45	巻き寿司・いなり寿司	体験 学習	元総社地区食生活 改善推進員 5名	17
2	11/24 (金) 9:30~11:30	白和え・みたらし団子	体験 学習	元総社地区食生活 改善推進員 5名	18
3	12/8 (金) 9:30~11:30	おきりこみ・紅白なます	体験 学習	元総社地区食生活 改善推進員 7名	21

(4) 評価と反省

今年度も元総社地区食生活改善推進員の皆さんに講師を引き受けていただき、開催した。

今年度の講座メニューについて事前に講師と調整を図り、講師主導の下でレシピを計画、あらかじめ印刷して当日配布させていただいた。講師側でも限られた時間と材料費で十分な学習ができるよう、下ごしらえ等に工夫を重ねていただき、比較的円滑な進行ができた。

参加者は50代～80代と幅広い年代の方が含まれ、多くが女性であったが、男性も2名の参加があった。手早く動けない高齢層の方も含まれたが、相互の協力で補っていた。

地域住民の間で一定の認知、定着を得ている一方、チラシ回覧や公民館報掲載での募集日程に余裕を持たせたにも関わらず、前年に比して参加人数が減という、やや残念な状況もあった。第2回以降、特に要望を受けての追加参加を受け入れた。だが現状の料理実習室の広さからはあまり人数を増やすことも難しく、バランスが問題である。

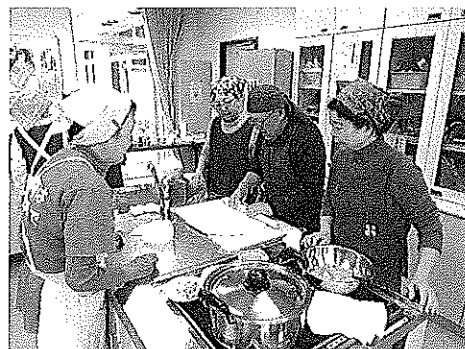
アンケート結果の満足度は「楽しかった」との感想や次年度開催を望む声が多くみられ、概して良好であったが、リピーター層にはメニューがややマンネリ化しているなどの意見も寄せられた。地域で根強い人気のある講座であり、従来実施の少ないメニューで、参加者に好まれそうな内容について検討を図りたい。

また募集については、地域へのチラシや広報以外に、女性たちの友人関係

による口コミが申し込みのきっかけになった方も多く、早期の企画立案によって募集の予告時期を早めることで、積極的な情報拡散を図りたい。



暮れらしく『おきりこみ』と『紅白なます』



女性に限らず男性も参加 調理に取り組みます

児童生徒の人権教育に係る作品（標語や作文、ポスター等）の活用

（１）ねらい

地区内小中学校の生徒・児童が作成した人権教育に係る作品を、地区内に周知・提供することにより、地区内人権意識の向上と啓発を図る。

（２）概要

市教育委員会から各学校への協力依頼に基づき、公民館からも地区内の小・中学校へ作品の提供依頼を行い、１２月下旬から翌年１月下旬まで館内の廊下で人権作文や標語等の展示を実施した。

（３）内容

【展示作品】

元総社中学校：人権標語 人権作文

元総社小学校：人権学習の取り組みまとめ（作文・標語）

元総社南小学校：人権標語

元総社北小学校：人権標語

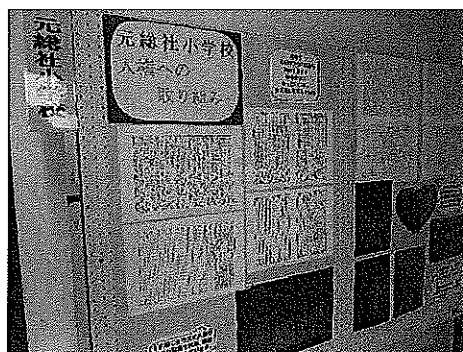
（４）いじめ防止のことを考える元総社スローガン代表者作品の展示

児童生徒の人権教育に係る作品活用の展示終了後、元総社地区青少年健全育成推進委員会と協力し、４小中学校のいじめ防止のことを考える元総社スローガンの代表作品を２月上旬から３月下旬まで館内の廊下に展示する。

（５）評価と反省

公民館利用者に地区小中学校児童生徒が思っている人権について広く知っていただく良い機会となった。また、公民館報でのPRを行い、１月に公民館で開催される地区行事「元総社ふれあいまつり」期間中も展示を継続、地域住民への啓発を行った。また、今年度は、元総社地区青少年健全育成推進委員会と協力し、いじめ防止のことを考える元総社スローガンも展示。次年

度以降も、学校や地域団体と連携して、人権啓発活動を継続できるように働き続けていきたい。



児童生徒の人権教育作品（標語・作文等）の活用

6 文化祭

(1) わらい

地域住民の学習、文化活動、ならびに伝統芸能の継承活動等の成果発表を通して、地域の芸術文化の振興と向上を図り、併せて地域住民の連帯感を深めることを目的とする。

(2) 概要

事業名：第33回元総社地区文化祭

周知方法：公民館報、戸別配布チラシ等で周知

(3) 内容

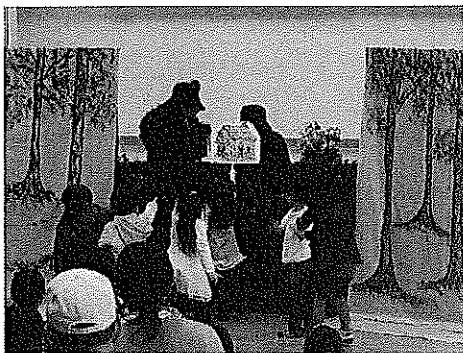
月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
11/9 (金) 13:00~16:00	作品展示	俳句・陶芸・水彩画・切り絵・水墨画・編み物・絵手紙・書道・パソコン・一般作品・地域づくり・保育所・幼稚園・小中学校・作業所他（場所：第1・第2会議室、視聴覚室、廊下壁面、玄関・ホール前ロビー）	3,280
11/10 (土) 9:00~16:00			
11/11 (日) 9:00~15:00			
11/10 (土) 10:30~12:00	模擬店ほか	【模擬店・健康教室】ヨーヨー・綿菓子・ポップコーン・清涼飲料水・フランクフルト・チョコバナナ・焼きまんじゅう・焼きそば・健康教室（会場：屋外）	延べ参加者数
11/10 (土) 10:00~14:00	【子ども広場】 体験学習		
		【体験学習】子ども囲碁・勾玉づくり	

11/10 (土) 9:00～15:20	イベント 伝統芸能	(会場：アトリエ／屋外) 【ホールイベント】ウクレレコンサート・ アンサンブル響、混声合唱団ジョイント コンサート・人形劇・ミュージカルショ ー 大友百万遍・上宿獅子舞	
11/11 (日) 8:45～9:00	式典	【舞台発表（伝統芸能含む）】吹奏楽・ 歌謡・大正琴・合唱・詩吟・民謡踊り・ フォークダンス・だんべえ踊り・フラダ ンス・太極拳演武・ハーモニカ・リコー ダー演奏他（伝統芸能「総社神社太々神 楽」実演） (会場：式典・抽選会共にホール)	
11/11 (日) 9:10～15:00	舞台発表・伝統 芸能		
11/11 (日) 15:20～15:50	抽選会		

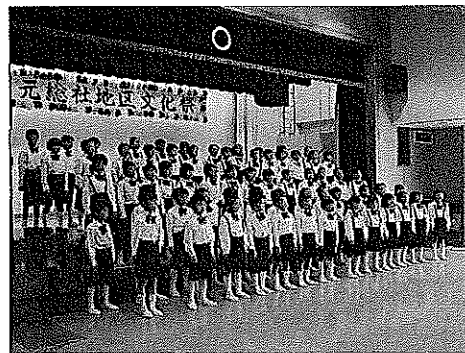
(4) 評価と反省

本年度は天候にも恵まれ、各団体の積極的な協力態勢で参加者は延べ3,280人になり大盛況であった。特に2日目の子ども広場では、子どもから大人まで家族みんなで楽しめるようウクレレコンサート・人形劇・ミュージカルショーを新しく企画し、伝統芸能と伴に好評であった。来年度もぜひこの企画を継続したい。その中で、小学生低学年の参加が少なかったもので、各学校へのPR、参加依頼を含めた体制を考えていきたい。

また、3日目の舞台発表日の会場及び駐車場で、各用途、団体別に駐車券の管理を行った結果、スムーズに交通誘導ができた。次回は2日目の子ども広場でも、駐車券の管理を行いたい。



子ども広場人形劇（わたげの会）



舞台発表（元総社南小学校）



展示作品（陶芸／俳句）



ミュージカルショー
（ミュージカル劇団アラムニー）

7 自主学習グループ活動支援

(1) ねらい

- ①公民館を利用し活動をしている自主グループリーダー相互の学びあいと交流を図る。
- ②自主学習グループ会員の高齢化が進んでいる現状を踏まえ、昨今多発している高齢者に対する振り込め詐欺等の犯罪を防ぐため、正しい知識や対策方法を学習する。
- ③研修を通して学んだことを、地域に還元できるような体制づくりの推進を図る。

(2) 概要

公民館利用自主グループ代表並びに会員を対象に実施。

(3) 内容

回	月日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	12/1 (土)	グループ連協親睦会	交流会	なし	33
2	2/7 (木)	まえばし出前講座 防犯講座～身近な防犯知識～	講義	危機管理室職員	35

(4) 評価と反省

昨年度まで実施していた秋の研修旅行の参加者が年々減少し、予算内で実施することが困難になったため、代替案について総会で会員の意見を募ったところ、「気軽に食事をしながら交流ができれば」という意見が多かった。そのため、新たな交流の場として公民館ホールで昼食会を開催した。当日は500円の参加費を集め、少し豪華なお弁当を食しながら歓談や各グループの活動などについて発表した。活動時間が違えば普段顔を合わせることもない会員同士、他グループの活動紹介について興味深く耳を傾けていた。最後は太極拳グループの会員を講師として、皆で気功体操をして締めくくった。

「土曜の昼下がり・通い慣れている公民館・ワンコインでランチ」という気軽さが好評で、今後も継続を望む声が聞かれた。参加人数の拡大や内容がマンネリとならないよう、開催について工夫していくことを今後の課題としたい。

リーダー研修として実施した、まえばし出前講座の「防犯講座」については、自主グループ会員の高齢化が進んでいる現状を踏まえ、高齢者がターゲットになりやすい振り込め詐欺等を予防する知識や対策について学習する

機会とした。平成31年度の減免申請説明会と合わせて講座を行った。

参考:元総社公民館利用自主学習グループ連絡協議会行事

回	月日	内容等
1	4/12 (木)	総会
2	5/13 (日)	元総社地区のびゆくこどものつどい参加 (車椅子体験コーナー)
3	9/1 (土) ~ 9/30 (日)	サークル見学・体験月間実施
4	11/9 (金) ~ 11/11 (日)	第33回元総社地区文化祭 ・のぼり旗作成 ・作品展示・舞台発表・こども広場に参加
5	12/1 (土)	親睦会 (公民館ホールにて昼食会)
6	12/3 (月)	元総社公民館大掃除
7	1/13 (日)	元総社ふれあいまつり参加 (餅つき・凧づくり)
8	1/15 (火)	グループ連協だより第50号発行
9	2/7 (木)	自主グループリーダー研修会 (まえばし出前講座「防犯講座」)



お弁当を食べながらグループ活動を紹介



気功体操でリフレッシュしました

団体育成援助事業・各種団体事業活動

回	月日	事業内容等	参加対象	人数	会場
各実行委員会	5/13 (日)	のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場	地区住民	2,900	元総社公民館
	9/30 (日)	市民運動会 (雨天中止)	地区住民		元総社小学校
	11/9 (金) ~ 11/11 (日)	文化祭	地区住民	3,280	元総社公民館
	1/13 (日)	元総社ふれあいまつり	地区住民	1,900	元総社公民館
体育推進委員会	5/20 (日)	グラウンドゴルフ大会	地区住民	195	元総社北小学校
	6/17 (日)	ソフトバレーボール大会	地区住民	90	元総社中学校
	7/22 (日)	スローピッチソフトボール大会	地区住民	126	元総社北小学校
	8/19 (日)	西部地区女子バレーボール大会	西部地区住民	65	第六中学校
	9/2 (日)	ソフトドッジボール大会	地区住民	185	元総社中学校
	11/18 (日)	スマイルボウリング大会	地区住民	240	元総社南小学校
	2/24 (日)	ディスコン大会	地区住民		元総社中学校
子育連	7/21 (土) ~ 7/22 (日)	第 63 回リーダー研修	地区小学生 5・6 年	56	わらび平森林公園キャンプ場
	11/17 (土) ~ 11/18 (日)	第 64 回リーダー研修	地区小学生 5・6 年	63	妙義青少年自然の家
	12/9 (日)	元総社地区上毛かるた大会	地区小学生	186	元総社北小学校体育館
老人クラブ連合会	7/19 (木)	老連グラウンドゴルフ大会	地区老連会員	145	大友町さくら公園
	8/9 (木)	老連スマイルボウリング、輪投げ大会	地区老連会員	133	元総社公民館

地域づくり協議会	7/1（日）	三世代 スマイルボウリング大会	地区住民	247	元総社小学校
	9/1（土）	子どもと地域とのかかわ りを考えるつどい （青少年健全育成会）	地区住民	65	元総社公民館
	10/21（日）	元総社地区 歴史ウォークラリー	地区住民	37	石倉町内巡回
	11/25（日）	元総社地区防災訓練	地区住民	182	元総社公民館
	2/3（日）	元総社郷土かるた大会	地区住民	90	元総社公民館



事業説明



前橋市教育委員会では、平成 28 年度より中学生の学習支援を行う「地域寺子屋事業」を実施しています。この事業は、地域の公民館等で生徒主体の学習活動を支援することで、生徒が自分の学力を伸ばすとともに、社会性や人間性を育めるよう、家庭や学校と連携しながら地域で子供を育てることを目的として実施するものです。

平成 30 年度
実施会場 (14 会場)

第三中学校
〈会場〉総合教育プラザ

第五中学校
〈会場〉地域活動室

第六中学校
〈会場〉総社公民館

第七中学校
〈会場〉地域活動室

桂萱中学校
〈会場〉桂萱公民館

芳賀中学校
〈会場〉芳賀公民館

元総社中学校
〈会場〉元総社公民館

東中学校・箱田中学校
〈会場〉旧東公民館

木瀬中学校
〈会場〉永明公民館

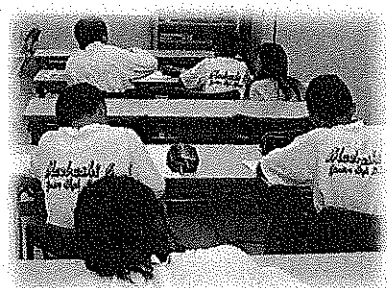
荒砥中学校
〈会場〉城南公民館

大胡中学校
〈会場〉大胡支所

粕川中学校
〈会場〉粕川公民館

宮城中学校
〈会場〉宮城公民館

富士見中学校
〈会場〉富士見公民館



○授業日の週 2 回 17 時～20 時まで、学校帰りに参加することができます。参加する生徒は、実施時間内であれば、希望の時間帯に学習することができます。

○実施会場に指導者と地域サポーター・大学生ボランティアを配置し、中学生の自主学習を支援しています。生徒は自分の課題に応じて、自主学習に取り組めます。

平成30年度 地域寺子屋（元総社公民館）実績

30年度 1学期地域寺子屋

5月		計						
実施日	5/10	5/14	5/17	5/21	5/24	5/28	5/31	7回
参加人数	27	20	20	25	17	16	18	143

6月										計
	6/4	6/7	6/11	6/14	6/18	6/21	6/25	6/28	8回	
	20	21	21	16	15	17	13	16	139	

7月					計
	7/2	7/5	7/9	7/12	4回
	14	14	17	17	62

1学期
延べ人数 開催回数 1回あたり
344 19 18.1

30年度 2学期地域寺子屋

8月	計				
実施日	8/27	8/30	2回		
参加人数	5	10	15		

10月										計
	10/1	10/4	10/11	10/15	10/18	10/22	10/25	10/29	8回	
	21	8	9	15	15	14	14	22	118	

11月	計									
実施日	11/1	11/5	11/8	11/12	11/15	11/19	11/22	11/26	11/29	9回
参加人数	14	20	16	22	17	20	13	19	15	156

12月						計
	12/3	12/6	12/10	12/13	12/17	5回
	23	19	20	17	21	100

2学期
延べ人数 開催回数 1回あたり
451 30 15.0

30年度 3学期地域寺子屋

1月		計					
実施日	1/10	1/17	1/21	1/24	1/28	1/31	6回
参加人数	17	16	9	20	15	15	92

2月	計							
	2/4	2/7	2/14	2/18	2/21	2/25	2/28	7回
	13	14	16	21	15	19	16	114

3学期（1・2月のみ）
延べ人数 開催回数 1回あたり
206 13 15.8

平成30年度（5月～2月）		
実施回数	62回	
参加のべ人数	1,001人	1回あたり平均 16.1人

平成31年度元総社公民館事業計画

1 実施予定事業の概要

単位：円

事業名	予定内容	予算要求額
子育て、親子支援 (元総社すこやか学級)	未就園児をもつ保護者の学習及び子育てボランティアの育成	143,000
青少年体験・チャレンジ活動 (元総社少年教室)	世代間の交流を通じた少年の育成	48,000
青少年体験・チャレンジ活動 (プレイルーム元総社)	幼児や低学年の小学生を対象とした講座の実施	61,000
生涯学習奨励員活動支援 (生涯学習奨励員研修)	奨励員と自治会長との合同研修	20,000
自主学習グループ活動支援 (自主学習グループリーダー研修)	公民館利用団体を対象とした研修会	13,000
学び合い、人権、地域ふれあい (ベテラン学習講座) (地域づくり講座)	高齢者の生きがいづくり支援事業 地域人材を活用した講座の実施	91,000
文化祭	学習成果の発表を通じた、地域文化の振興と向上	110,000
情報提供事業	「かんぼう元総社」発行。ホームページやフェイスブックによる情報発信	180,000
公民館運営推進委員会	公民館における各種事業の企画及び実施についての調査審議	27,600
合 計		693,600

平成31年度元総社公民館の重点施策

元総社公民館

1 目的

公民館は、地域を基盤とした社会教育施設であることをふまえ、本公民館においても、地域性を反映した公民館運営を進めていく。また、地域住民が学習を通じて互いに連携し、地域に対する理解を深め、学んだ成果を地域で発揮していくことにより地域づくりが進められるよう務める。

2 本年度の重点施策

今年度の元総社公民館における重点的な施策は以下のとおり。

(1) 子育て・親子支援

本地区は、アパート、寮、公務員宿舎などが多く、比較的他市からの転勤者が多い地区である。潜在的に子育てに困っている保護者が多いことから、家庭教育に関する事業を実施し、子育て環境の充実を図る。

- ①元総社すこやか学級やベビープログラム、子育て支援講座などの主催事業を開催する。
- ②元総社地区ボランティア連絡会と保健推進委員会との共催で子育てサロン「かえるっ子」を支援する。
- ③公民館で活動している子育て団体の育成、支援を行う。

また、昨年度に引き続き、地区内住民を対象とした子育て支援講座を開催し、新たな人材の育成に努め、託児ボランティア活動の次世代の担い手に繋がる掘り起こしを継続的に行っていく。

(2) 青少年体験・チャレンジ活動

青少年関係団体等と連携した様々な事業の支援や少年教室などの主催事業を実施し、青少年の野外集団活動・創作活動・地域行事などへの参加を促進し、少年期の健全なる心身の発達を図る。具体的に下記の事業を実施する。

- ①青少年が地域活動に自主的に参加できるようインリーダー研修等の指導者養成を実施する。
- ②小学校高学年生を対象に子育て連主催のリーダー研修を実施する。青少年が一泊の野外活動の経験を通して、参加者同士学校区を越えて交流を深める。
- ③のびゆくこどものつどいや元総社ふれあいまつりなどのイベントを通じて、地域の子どもたちの社会参加と世代間の交流を促進する。
- ④少年教室を実施し、子どもの情操や社会性を培い地域に対する愛着を深める。
- ⑤ボランティア連絡会と公民館の共催事業で、幼少期から少年期にかけた児童を対象とした「プレイルーム元総社」を実施し、世代や学校区を越えた交流を図り、子どもの豊かな心を育む。

(3) 生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員の活動支援・推進のため、また、自治会長との連携をよりよいものにするため、各種の研修会や講座を設ける。

① 視察研修

奨励員と自治会長合同の視察研修。前橋及び近隣の地域の歴史遺産を視察し交流と研鑽を深める。

② 奨励員単独研修 奨励員のための個々の研鑽を高める研修事業

③ 出前講座を活用した研修

奨励員と自治会長合同の研修講座で、市の出前講座を活用して共通の学びを通した研鑽と交流を図る。

(4) 自主学習グループ活動支援

自主学習グループ会員相互の親睦を深める事業を実施するとともに、各グループの学習成果を地域に還元する取り組みを支援する。

(5) 学び合い、人権、地域ふれあい

住民同志の交流や支えあい、歴史や伝統文化の継承など、多面的に講座を開催し、住民の主体的な地域づくりの取り組みを支援する。

① 地域を学ぶ歴史講座

国府を中心とする遺跡など、元総社の大切な歴史資源について学ぶ講座を設け、地域に対する愛着を醸成することを目的とする。

② 伝統文化の継承

伝統・文化の継承の場を創出し、世代間交流も含めた地域内での文化継承を推進する。講師には地元講師を依頼する予定

③ ベテラン学習講座

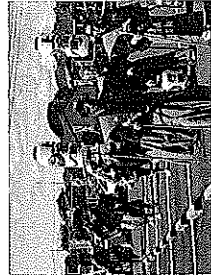
健康づくりや豊かなライフスタイル、また元総社地区の大切な歴史資源について学ぶ講座を実施し、地域住民として郷土を愛し心豊かな生活を営むための知識を得る。

④ 文化祭

公民館の自主グループの日頃の学習成果の発表の場である地区文化祭を開催する。併せて地域の各種団体が出し物・出店を文化祭の中で実施し、地域の大イベントとして、住民の交流や活性化を図る。

また、子どもたちを対象にした勾玉作りコーナーや、総社神社太々神楽や上宿町獅子舞、大友町百万遍などの郷土芸能の発表コーナーを設け、幅広い年齢層が郷土の歴史に触れ、郷土に愛着を持ち、主体的に地域づくりに参加する姿勢を醸成する。

地域資源を生かした コミュニティデザイン (出会い・発見編)



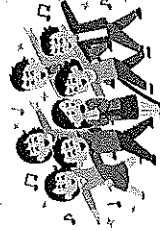
文化遺産・民俗芸能

国府関係の発掘物
総社神社
蒼海城跡
総社神社太々神楽
元総社四区獅子舞
大友町百万通



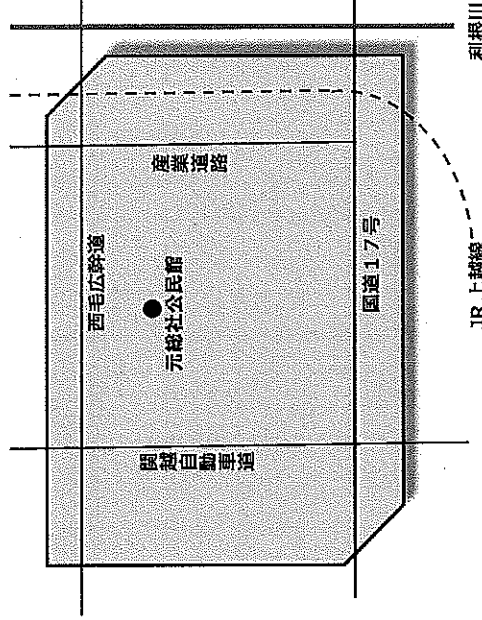
公共施設

前橋警察署・市町村会館・大
友児童館・大友老人福祉セン
ター・シルバーク人材センタ
ー・ジョフセンターまえば
し・大瀬トレーニングセンタ
ー・大瀬体育館・群馬県総合
交通センター



元総社地区は、国府関係の発掘物や総社神社などの豊かな史跡に恵まれ、それ
に伴う民俗芸能などもしっかり残っている豊かな地区です。また、西毛広域幹線道
路の開通等による交通網の充実、また区画整理事業の進展や公共施設・教育
機関の充実などにより都市機能の整備が総合的に進んでいる地区です。

元総社地区



JR 上越線 利根川

元総社地区の自治会

①元総社町第一③元総社町第二③元総社町第三④元
総社第四⑤大友町⑥大瀬町⑦石倉町上石倉⑧石倉町
中部⑨下石倉町⑩元総社町78⑪黒羽町東部⑫黒羽
町西部⑬間屋町

元総社地区の概要

世帯数 8,471世帯
人口 17,091人
面積 6.44km²
(平成31年2月28日現在)

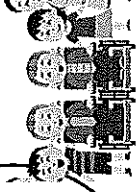
報道機関

NHK 前橋放送局
上毛新聞社



医療・介護機関

老年病研究所病院・
包括支援センター
西部・介護老人保健
施設あつみ など



交通機関

国道17号 (高前バイパス)
西毛広幹道・関越自動車道
JR 新前橋駅



教育機関

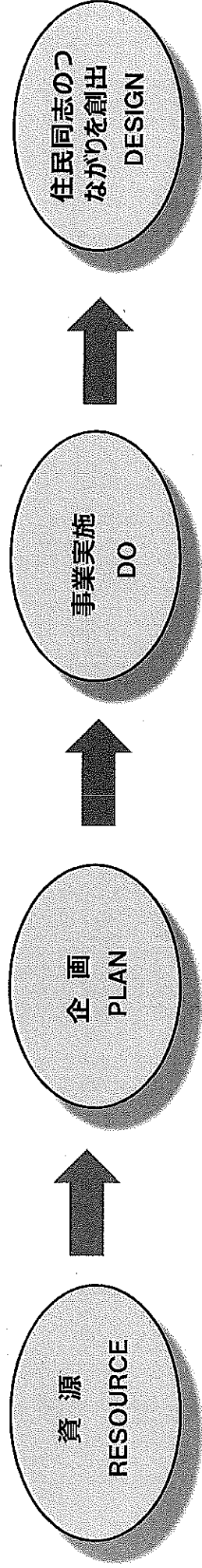
元総社中学校・元総社小学校
元総社南小学校・元総社北小学
校・元総社保育園・元総社幼稚
園・群馬社会福祉専門学校



元総社公民館

地域資源を生かしたコミュニティデザイン (願い・思い編)

この願い・思い編では、住民みなさんの意志や要望を見つめなおして、出合い・発見編で示した地域資源を、どう生かしていったら住民のみなさんが豊かに暮らしているのかをテーマに、事業を企画し、実施していくプロセスを示したものです。



元総社公民館

●教育機関

●交通機関

●医療・介護機関

●公共施設

●文化遺産・民族芸能

●その他

(出合い・発見編で示したものの)

1 住民の要望をとらえる。

2 地域の課題をとらえる。

3 住民の意志や要望に沿ったテーマや課題解決に向けたテーマを考える。

4 テーマに基づき、地域資源を取り入れた事業の企画をする。

豊かな地域づくりに向けた事業の企画

●子育て、親子支援

●青少年体験・チャレンジ活動

●生涯学習要員活動支援

●自主学習グループ活動支援

●学び合い、人権、地域ふれあい

公民館は、住民の意志や要望をとらえてなるべく多くの地域資源を取り入れながら講座やイベントを実施していくものです。そして、多くの住民が講座に参加し、交流することにより、住民の輪が広がり、それが様々な地域づくりの活動の広がりにつながります。公民館の事業は、こうした活動のきっかけづくりを目的に実施しているものです。

地域資源を生かした

コミュニティデザイン (仕掛ける・つなぐ編)

この仕掛ける・つなぐ編では、願い、思い輝で提示した考え方で平成31年度の元総社公民館の重点施策をデザインしました。その全体の目的は下記の通りです。

目的＝公民館は、地域を基盤とした社会教育施設であることをふまえ、本公民館においても地域性を反映した公民館運営を進めていく。また、地域住民が学習を通じて互いに連携し、地域に対する理解を深め、学んだ成果を地域で発揮していくことにより地域づくりが進められるよう努める。

学び合い、人権、地域ふれあい

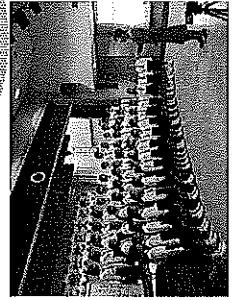
住民同士の交流や支え合い、歴史や伝統文化の継承など、多面的に講座を開催し、住民の主体的な地域づくりの取り組みを支援する。

- ・地域を学ぶ歴史講座
- ・伝統文化の継承(食文化)
- ・ベテラン学習講座

総合文化の祭典・文化祭

公民館の自主学習グループの日頃の学習成果の発表の場である地区文化祭を開催する。併せて地域の各種団体が様々な出し物・出店を文化祭の中で実施し、地域の一大イベントとして、住民の交流や活性化を図る。

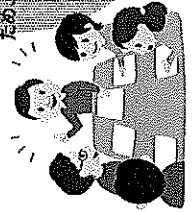
- ・郷土芸能発表コーナー
- ・舞台発表、作品展示
- ・子ども体験コーナー
- ・出店、模擬店コーナー
- ・その他



生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員の活動支援・推進のため、また、自治会長との連携をよりよいものにするため、各種の研修会や講座を実施する。

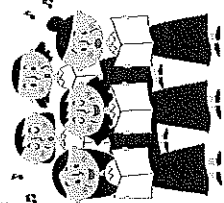
- ・模範研修
- ・奨励員養成研修
- ・出前講座を利用した研修



自主学習グループ活動支援

自主学習グループ会員相互の親睦を深めるとともに、各グループの学習成果を地域に還元する取り組みを支援する。

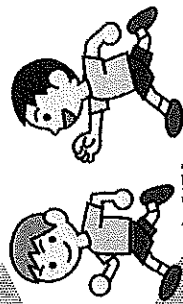
- ・公民館主催講座への講師派遣



青少年体験・チャレンジ活動

青少年関係団体と連携した様々な事業の支援や少年教室などの主催事業を実施し、青少年の野外活動・創作活動・地域行事などへの参加を促進し、少年期の健全なる心身の発達を図る。

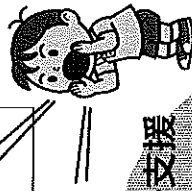
- ・インリダー研修
- ・子育連主催のリーダー研修
- ・「のびゆく」や「ふれあいまつり」
- ・少年教室
- ・フレイルーム元総社



子育て、親子支援

本地区は他市からの転入者も多く、現在約に子育てに困っている保護者が多くことから、家庭教育に関する事業を実施し、子育て環境の充実を図る。

- ・元総社すこやか学級
- ・ベビープログラム
- ・子育てサロン「かえるるっ子」
- ・子育て団体の育成・支援
- ・子育て支援講座



元総社公民館

市民サービスセンター関係業務

(平成30年4月～31年2月)

(1) 市民課 諸証明

証明の種類	平成30年度(2月まで)		平成29年度(全期間)	
	件 数	金 額	件 数	金 額
戸籍謄本	684	307,800	830	373,500
戸籍抄本	218	98,100	245	110,250
除籍・改正原戸籍謄本	416	312,000	391	293,250
除籍・改正原戸籍抄本	8	6,000	3	2,250
戸籍の附票	65	22,750	103	36,050
戸籍記載事項証明	0	0	0	0
受理証明	1	350	2	700
届書記載事項証明	1	350	0	0
諸証明(身分証明書等)	70	24,500	84	29,400
住民票	3,946	1,381,100	4,641	1,624,350
住民票記載事項証明	91	31,850	109	38,150
広域交付住民票(市外居住者)	26	9,100	35	12,250
印鑑登録	156	54,600	225	78,750
印鑑登録証明	3,216	1,125,600	3,735	1,307,250
耕作証明	0	0	0	0
無料現況届(年金関係)等				
合 計	8,898	3,374,100	10,405	3,906,150

(2) 税 証明

証明の種類	平成30年度(2月まで)		平成29年度(全期間)	
	有料	無料	有料	無料
所得・課税等の証明 ・所得証明 ・(非)課税証明 ・扶養証明 ・所在証明 ・営業証明	1,901 件 665,350 円	772 件	2,115 件 740,250 円	839 件
土地・建物等の証明 ・固定資産価格通知書 ・評価証明 ・公課証明 ・資産証明 ・税額証明 ・土地証明 ・名寄帳				
納税の証明 ・個人市民税 ・法人市民税 ・固定資産税 ・国民健康保険税 ・軽自動車税 ・完納証明				

(3) 税等 収納

税等の種類		平成30年度(2月まで)		平成29年度(全期間)	
		件 数	収納金額	件 数	収納金額
市税	市民税	100	1,881,900	104	3,059,500
	固定資産税	229	6,707,150	257	8,465,250
	軽自動車税	49	445,800	59	450,700
	国民健康保険税	137	1,988,500	158	2,295,224
税外 収納	介護保険料	32	211,000	35	279,600
	後期高齢者医療保険料	65	557,800	56	471,700
	その他	126	624,666	142	761,145
合 計		738	12,416,816	811	15,783,119

(4) 住民異動受付業務の推移

① 経緯・概要

前橋市の市民サービスセンター（以下「SC」）の転居・転入等住民異動届出受付は、元総社SCで平成24年10月先行開始した。以後25年12月から利根東3SC（上川淵、桂萱、南橋）、27年10月から東SCでも実施している。

取扱業務は、前橋市への転入・他市町村への転出・市内転居などの一般的な住民異動手続と、付随する一部の保険証類の新規発行や住所変更関連の処理など。

住民周知については、市広報やホームページ上で告知を継続実施している。

② 内 容

異動届出受理における窓口での書類審査には知識を要し、SC内および本庁市民課主催の窓口職員研修を毎年実施している。異動関連の電算処理はSC現場では実施できないため、書類を本庁へFAX送信、本庁市民課で電算処理対応する。

SCでの異動業務取扱範囲は、市民課・国民健康保険課・介護高齢課・障害福祉課等の関係各課と協議により定め、各担当課との意見交換も随時実施する。

③ 実 績

平成30年4月1日～31年2月28日までの受付実績は次のとおり。

異動届出 転入98件 転出148件 転居136件 その他14件 計396件

(参考) 平成29年4月1日～30年2月28日までの受付実績は次のとおり。

異動届出 転入105件 転出147件 転居172件 その他11件 計435件

○元総社市民サービスセンター 異動受付実績(平成 30 年度 31 年 2 月まで)

平成 30 年度(30 年 4 月～31 年 4 月)								(参考)平成 29 年度						
月次	転入	転出	転居	その他	合計	(参考) 月間の 開庁日 数	対 29 年 度増減 率	月次	転入	転出	転居	その他	合計	(参考) 月間の 開庁日 数
H30.4	13	21	12	2	48	20	90.6%	H29.4	11	18	22	2	53	20
H30.5	9	13	4	2	28	21	59.6%	H29.5	19	15	13	0	47	20
H30.6	7	16	18	2	43	21	71.7%	H29.6	9	21	29	1	60	22
H30.7	13	21	18	3	55	21	131.0%	H29.7	9	15	18	0	42	20
H30.8	7	14	11	0	32	23	91.4%	H29.8	10	13	12	0	35	22
H30.9	10	12	20	0	42	18	110.5%	H29.9	9	17	11	1	38	20
H30.10	6	13	9	1	29	22	72.5%	H29.10	9	10	19	2	40	21
H30.11	12	9	11	1	33	21	117.9%	H29.11	8	10	8	2	28	20
H30.12	5	9	8	0	22	19	100.0%	H29.12	5	6	9	2	22	20
H31.1	10	8	14	1	33	19	106.5%	H30.1	7	9	15	0	31	19
H31.2	6	12	11	2	31	19	79.5%	H30.2	9	13	16	1	39	19
4～2 月 累計	98	148	136	14	396	244	76.3%	4～2 月 累計	105	147	172	11	435	223
								H30.3	18	44	19	3	84	21
								年度計	123	191	191	14	519	244

【平成 30 年度 元総社 S C での異動受付】

繁忙期は 3 月から続く年度当初 4～6 月、および企業の間接異動や警察学校の課程修了月が該当、他の時期は頻度低下。東 S C での異動受付開始以降、方面別の利用者分散傾向が進んでいる。

届出受付に際し、届出者に処理時間の猶予を求め、入力終了後に電話連絡を行うなどのサービス策で、公民館での長時間待機を避けるよう図っている。

今後とも職員の業務習熟を進めると共に、市の各業務担当課との調整を図り、正確・適切な受付事務に努めながら、公民館事業との両立を実現させたい。

(5) その他(マイナンバー関連事務)

日本国内に住民登録されている者(住民票のある者。外国籍者も含む)を対象

に平成２７年１０月から個人番号（マイナンバー）制度を運用開始。番号管理・個人番号カード発行は総務省管轄であるが、関連実務の多くは地方自治体（市区町村）に委託される。

住所異動時等に個人番号カード（顔写真あり）または番号通知カード（顔写真なし）への新住所裏書き措置、また個人番号カードについては同時に電子情報書換措置が必要となる。通知カードの再発行申請については、市町村経由で国に行う必要がある。前橋市のＳＣでも、カード裏書き・書換事務、再発行申請事務を実施している。

全国の住民宛に番号通知カードが郵送交付された平成２７年以降、同カードを紛失する事例が高齢者を中心に多発する一方、公的届出にマイナンバー記載や通知カード提示を求められる事案も増加、相当件数の紛失届出および再発行申請が頻繁に生じている。

申請者からの聞き取りでは特に、確定申告や年金申請等における個人番号の書類記載義務などの影響がうかがわれる状況。

元総社ＳＣにおける３０年度の通知カード再発行申請件数は、前年度と比較し減少傾向にある。

○元総社市民サービスセンター 個人番号関連受付実績 (平成 30 年度 30 年 4 月～31 年 2 月まで)						
月次	通知カード			通知 カード 小計	個人番号 カード (マイナンバーカード)	合計
	表面記載 事項変更	紛失届	再交付 申請		券面記載事項変更 (同時に電子情報も書換)	
H30.4	9	2	2	13	0	13
H30.5	11	1	1	13	2	15
H30.6	15	1	1	17	0	17
H30.7	7	5	5	17	0	17
H30.8	9	2	2	13	0	13
H30.9	1	0	0	1	0	1
H30.10	1	3	3	7	0	7
H30.11	4	5	5	14	0	14
H30.12	5	1	1	7	1	8
H31.1	1	6	6	13	0	13
H31.2	6	1	1	8	0	8
年度累計 (2 月まで)	69	27	27	123	3	126